

クローズアップ ⑤

廃車の軽自動車で 電気自動車を製作



やすゆき
及川 康幸さん (56歳)
中田町・新町

「幼い頃から機械をいじるのが好きでした。電気自動車を造つたのも趣味の延長ですね」と話す及川さん。
現在迫町で家電販売・修理店を営んでいる及川さんは、2年前に約8カ月の期間をかけて電気自動車「日苺号」を製作しました。

県内では個人として初の電気自動車の車検を取得しました。現在も毎日通勤用として使っています。
「以前雑誌で電気自動車の記事を読み、自分も造つてみようと思った。どうせならできるだけ身近にある廃品を使って造りたいと考えまし



音も小さく環境に優しい電気自動車「日苺号」

た」と電気自動車を造つたきっかけを話してくれました。モーター本体とモーターに送る電気の調節器は、アメリカから購入。ほかの部品は電気釜や電話機の廃品を利用。車体は知り合いから廃車にする軽自動車を譲り受けました。電源は、ゴルフ場のカートやフォークリフトに使われる電気自動車用のバッテリーを利用し、後部座席に搭載しています。家庭用電力で充電でき、充電1回の走行距離は30km。最高時速は80kmも出ます。音も小さく環境に優しいエコカーです。

製作中は、音がうるさかつ

たり、バック走行が速いなどの問題も発生しましたが、それを解決する過程も楽しく感じました」
自分の性格を「前向きでプラス思考」と話す及川さんからは、ものづくりに対する強い熱意が感じられました。

文芸コーナー

短歌

行き摺りと思ひし療友らと幾十年

戸伊摩の里は「みやこ」となりて

土匂う転作田の揚雲雀

天上天下蒼天ほがらに

わずかなれど草引く日日を連ねれば

畑の清しさ一刻安堵す

久に聴く息子の電話己のが家に

移り住むとふ明るく告げし

山うつぎ咲く九十九折り氣遣いて

バスすれ違ふ鍋越峠

幾度の苦節歩みて臥す姑の

思ひは懐し故里の民謡

人は皆運命の絆で生きている

我もまた我が身の上を振り返る

我が庭に輝き咲ける高砂百合の花

種子は小鳥の運びたるらし

晴天にくつきり白く栗駒の

西空高く駒形の見ゆ

梅雨明けの強き日差しに一斉の

蝉鳴く聞けば暑さいや増す

吾が部屋の窓辺に挿せる花開く

カサプランカの匂い清しき

本吉の浜辺に立てば返す波

今友逝きませり遠く海原

山野 鳩子 (迫)

山形昭一郎 (津山)

佐藤えみほ (米山)

千葉たかみ (米山)

折居由紀子 (米山)

丸山 米子 (東和)

亀掛川洋子 (東和)

鈴木ふみ子 (中田)

加藤あや子 (中田)

本宮やつの (中田)

熊谷てる子 (中田)

遠藤 敦子 (中田)

サークル紹介

⑤

とよさとマイタウンクラブ 「レクダンス教室」



レクダンスを楽しみながら健康、仲間づくりができます



指導者 **高橋 正子**さん
(迫町・鉄砲丁)
【とよさとマイタウンクラブ】
連絡先 0225 (76) 2237
(豊里公民館内)

とよさとマイタウンクラブに所属する「レクダンス教室」は、毎月第2火曜日の午前10時から、豊里町の多目的研修センターで活動しています。レクダンスとは、レクリエーションダンスのことで、現在日本フォークダンス連盟には、フォークダンス、スクエアダンス、レクダンス、日本民謡、ラウンドダンスの5つの団体が加盟しています。レクダンスは流行歌やポップス、ジャズなどの聞き慣れた曲に振り付けをし、年齢、性別を問わず、誰でも簡単に楽しく踊れることが特徴です。

ダンスの指導は、現在市内で15サークルを受け持つ高橋正子さん(迫町)のほか、4人が指導。年に1回、15サークルが日ごろの練習成果を互いに披露し、350人の仲間が交流を深めながらダンス大会を楽しんでいます。

高橋さんは「この教室では、中高年の皆さんの健康づくりや仲間づくりを目指しています。一人で家にこもらず、互いに助け合いながら前向きに生き生きと過ごしていただけるよう、レクダンスの楽しさを味わってもらいたいですね」と話していました。レクダンスに興味のある人や運動不足を解消したい人は、とよさとマイタウンクラブ「レクダンス教室」までご連絡ください。

俳句

卯の花に秘めた長者の夢の跡

高橋重左エ門(迫)

初挽ぎの茄子を亡夫に見せに行き

小野寺智子(迫)

夫の遺志塀成し終へて魂祭り

大泉けい子(中田)

大過なく老舗を今に蔦茂る

五十嵐進太夫(中田)

学窓に流るメロデー夕焼けむ

山内 成子(中田)

夕焼けに放つて占ふ下駄予報

菊地 典子(中田)

病室を照らす夕焼け明日退院

小野寺郁夫(中田)

たらたらと汗が出てくる帰り道

及川 莉奈(東和)

吾も踏みし彼の岸壁や敗戦忌

大坂 十縫(東和)

三陸の夕市殻つきほや満つる

丸山 秋甫(東和)

うち蟬の側より動く風のあり

園 永泊(迫)

川柳

米を研ぐたんびに米が減る娘

水野 徳行(登米)

師長さん四方八方市民の眼

青木 五郎(迫)

青田上々休耕田が恨み出す

及川 澄(迫)

※応募者多数のため抽選で掲載しました。ご了承ください。

●●文芸作品募集●●

俳句、短歌、川柳いずれか1カ月1作品。締め切りは毎月10日。住所、氏名、電話番号を記入してご応募ください(作品には必ず読みがなを付けてください)。応募者多数の場合は抽選で掲載しますのでご了承ください。

【あて先】〒987-0511
登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
登米市総務部総務課広報係
☎0225(22)2090
FAX0225(22)9164
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp